



日本で紅茶をスタンダードティーにした先駆者のブランド



『神戸紅茶のオーガニック&フェアトレード』

「オーガニック」とは、化学肥料を使用せず、有機肥料によって生産された農作物です。「フェアトレード」とは、この紅茶を購入することによって、生産した茶園労働者へ価格の一部から奨励金が直接支払われ、自助組織の発展に貢献できます。この神戸紅茶のダブル認証を取得した『オーガニック&フェアトレード』を購入することで世界が掲げている17の削減目標のうち、11項目を達成することができます。

神戸紅茶

1925年(大正14年)に地元神戸で創業した紅茶メーカー。
1961年(昭和36年)には、日本で初めてティーバッグの自動包装機をドイツから導入し、機械製造を行った紅茶業界のパイオニアです。茶葉の買い付けから、ブレンド、製造、販売まで一貫して行っています。

プログラムスケジュール例

- 9:30～ SDGsとは？
- 9:45～ 神戸紅茶の取組み
- 10:15～ ワークショップ
- 10:45～ 工場見学 or テイスティング体験
- 11:30 終了

実施場所：神戸紅茶
 実施時間：9:30～11:30 14:00～16:00
 所要時間：約2時間
 実施可能人員：10名～20名程度
 (日程により調整が必要です)
 実施費用：3,500円/人

①「紅茶」を通して、「世界の文化」を学ぶ

中国で生産されていた紅茶は、イギリス人に特別に愛され、それを契機に世界中に広がっていきました。私たちが知っている紅茶は、ほんの一握りのものなのです。葉ごとに異なる香りや味、水色は、私たちが味の世界旅行に連れ出してくれること間違いなしです。



②本社工場見学

日本で最初に紅茶ティーバッグの自動包装機械をドイツから導入し、日本のティーバッグの第1号は神戸紅茶の工場から誕生しました。およそ40年前に購入された年代物の機械が、いまでも現役バリバリで稼働している、工場をご見学いただけます。



③自分たちに「できること」を自ら考える

包装資材についても環境負荷の少ない素材を提案するなど、環境問題についても考えてきました。紅茶を飲むことで始められる環境改善。紅茶好きなあなただからこそできる身近なSDGsをはじめませんか？



18. 神戸紅茶



学習のポイント

- ① 「紅茶」を通して世界の文化を学ぶ
- ② 製造見学ができる
- ③ 自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）

